

検討の観点と内容の特色

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 公民』の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文は見開き 2 ページで 1 単位時間を原則にしています。 ● 目次、索引、巻末資料などを除いたページは 218 ページで、標準授業時数 100 単位時間のうち、4 単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。 ● 授業時数は、公民学習の導入に 1 単位時間、第 1 章に 13 時間、第 2 章に 17 時間、第 3 章に 23 時間、第 4 章に 24 時間、第 5 章に 14 時間、終章に 4 時間を配当し、また、それぞれに単元の導入の活動とまとめの活動の時間を充当しており、適切な配当といえます。 	全体
	適正な内容・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体（ですます体）を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ● ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き 2 ページごとに付すことを原則に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所でも読み方を確認する必要がないようにしました。 	全体
教育基本法・学習指導要領への対応	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 見開き 1 単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1 時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧に分かりやすい『本文』→1 時間の学習課題を解決する『チェック&トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 	全体
		<ul style="list-style-type: none"> ● 本文中の難しい用語を解説する「もっと解説」を本文ページの随所に配置し、単元のまとめには用語の確認をする「ワードチェック」を設け、確実な理解を促すようにしました。また、QR コンテツでは、社会科で学習する重要用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。 	p.12、27、46、58、67、89、107、145、157、160 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 公民学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。 	p.45、83、87、103、135、163 など
	「現代社会の見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 1 章や各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしました。 	p.28-29、41、54、75、124 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 1 単位時間の学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、着実に思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。 	全体
		<ul style="list-style-type: none"> ● 各章の終結部には「座標軸」「ステップチャート」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。 	p.34-35、72-73、124-125、178-179 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。 	p.9、53、81、124、133、171、209 など
	我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え、国土、歴史に対する理解と愛情を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国の特色ある伝統や文化に関する教材や、伝統や文化の継承や保存に取り組む中学生の姿を豊富に取り上げ、我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深め、伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。 	p.18-23、36 など
我が国の領域を正しく理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地理や歴史での学習内容をふまえて、我が国の領域について「主権」や「外交」の視点から正しく理解し、我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状を捉え、解決に向けての意識が高められるようにしました。 	p.184-187	
国旗や国歌を尊重する態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 5 章 1 節の「国際社会における国家」で「国旗と国歌」について記述し、国旗・国家を尊重することの重要性が理解できるようにしました。 	p.185	
公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 1 章 1 節に「持続可能な社会に向けて」を設けたり、中学生が社会参画している事例を取り上げたりすることで、持続可能な社会の形成に必要な一人一人の社会参画について、具体的な事例を通して理解できるようにしました。 	p.8-9、118、120-121、175 など	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人々の姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようにしました。 	p.50、69、76、106、118、145、169、197	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民学習の最後には、持続可能な社会について構想し、自分にできることをアクションプランにまとめるページを設け、社会参画に向けた主体的な態度を養えるようにしました。 	p.216-223	
構成・配列	教材の配列は学習しやすいか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各章の学習を、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくしました。 	(経済単元の例) 導入部 :p.129-131 →展開部 :p.132-175 →終結部 :p.176-179
		<ul style="list-style-type: none"> ● 第 2・3・4 章は「人権・憲法→政治→経済」の流れにすることで、公民学習の基盤である「人権・憲法」を先に学習し、「経済」については政治や政策との関連から学習を深められるようにしました。また、第 3 章は「国の政治→地方自治」の流れにし、「国の政治」を通じた民主政治の基礎についての学習を基に、地方自治の学習を展開することで、地方自治の意義を理解しやすくしました。 	全体

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 公民』の特色	該当箇所
構成・配列	導入やまとめ、問題提起の教材、学習の整理のための配慮は十分か。	● 各章の学習は、①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→②1 単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしました。また、節ごとに設けた「探究のステップ」に取り組むことで、「探究課題」をスムーズに解決できるようにしました。	(政治単元の例) ①導入の活動 :p.77-79 →②問いの追究 : p.80-121 →③まとめの活動 : p.122-125
		● 各章の「導入の活動」と「まとめの活動」には共通の題材を使うことで学習の流れをもたせています。また、各単元の最後には基礎・基本のまとめができる「確かめよう」を設け、模式図などを使って学習内容を整理することで、基礎・基本の定着を図れるようにしました。	p.32、70、122、176、210
		● 各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、えんぴつマークの活動コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるようにしました。	全体
	写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めているか。	● 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。	全体
		● 漫画やイラストなどを豊富に掲載し、生徒が興味・関心を持って学習を進められるようにしました。	p.6-7、16、26-31、130-131 など
	小学校や高等学校との接続・系統性があるか。	● 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QR コンテンツから既習事項をふり返るなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意し、小学校での4年間の社会科学学習に中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学学習」を系統的に展開できるようにしました。	p.37、77、129、181
		● 巻末に、高等学校の必修科目「公共」について紹介するページを設け、中・高の橋渡しに配慮しました。	巻末 2
	他分野との関連に配慮しているか。	● 3年間の社会科学学習を貫く5つのテーマ（「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」）について、特設ページ「もっと知りたい!」を3分野共通で掲載したり、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマークを付したりすることで、多面的・多角的な学習ができます。	p.14-15、36、74-75、126-127 など
	他教科との関連に配慮しているか。	● 理科、道徳、家庭科など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークを付し、QRコードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、教科を横断して多面的に学習を深められるようにしました。	p.12、126、138、172 など
	学習効果を高めるQRコンテンツが用意されているか。	● 導入→展開→まとめという単元の学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。	全体
● 導入のページでは、動画クリップなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意しました。		p.6、37、77、129、181、216 など	
● 展開のページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまづきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、QRコードを学習課題の隣に置きました。		p.8、10、12、16、18、20、22、24、26、28 など	
● まとめページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容を確認するクイズなどを用意しました。		p.32-35、70-73、122-125 など	
今日的な課題への対応	持続可能な開発目標 (SDGs)	● 教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。	全体 巻頭 1- 巻頭 2
		● 持続可能な社会の形成について、第1章1節と終章で取り上げ、第5章やQRコンテンツの参考法令集で「持続可能な開発目標 (SDGs)」を取り上げることで、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。	巻頭 1- 巻頭 2、p.8-9、182-183、191、195、206、216-223 など
	環境・エネルギー	● 公害問題や地球環境問題、日本のエネルギー政策などについて多様な教材を掲載し、話し合いなどの活動を通して、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。	p.8、64、172-173、180、198-203 など
	人権・平和	● 第2章の導入の活動「ちがいのちがいで」身近な事例から人権について考えさせるとともに、インクルージョンについて考える活動を設けたり、「もっと知りたい!」で共生社会を目指す具体的な事例を掲載したりすることで、人権意識を高められるようにしました。	p.38-39、53、74-76 など
	伝統・文化	● 第1章で伝統文化の継承や新たな文化の創造、多様な文化について扱うとともに、日本の無形文化遺産などについて取り上げる「もっと知りたい!」を新設し、伝統・文化への理解を深められるようにしました。	p.18-23、36 など
防災・安全	● 東日本大震災からの復興や防災対策、防犯などの課題について、具体的な事例を通して、社会参画や地方自治、自助・共助・公助、減災、人権などの多様な観点から考えられるようにしました。	p.8-9、67、126-127 など	

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 公民』の特色	該当箇所
今日の課題への対応	情報・技術	● 第1章で情報化について扱うとともに、「もっと知りたい!」でAIやVRなどの新しい情報技術による社会の変化について取り上げ、具体的な事例から情報・技術について理解できるようにしました。	p.12-15
		● 新聞記事を豊富に掲載し、新聞を使った活動を取り上げるなど、情報モラルやメディアリテラシーについて、具体的な活動を通して養えるようにしました。	p.67、86-87、98、110など
	主権者教育・消費者教育	● 成年年齢の満18歳以上への引き下げに対応して、18歳でできることと20歳でできることを整理して理解できるページを新設しました。	p.60-61
		● 選挙権・国民投票権の満18歳以上への引き下げに対応して、実際の選挙の流れを豊富な資料とともに概観するページや憲法改正や選挙に関する記述を掲載することで、選挙制度や選挙の意義について具体的に理解できるようにしました。	p.44-45、58、78-79、82-85、88-91、97、124-125など
		● 成年年齢の満18歳以上への引き下げに対応して、身近な場面設定を用いて契約の注意点を学習できるページを設け、広告の読み取りや悪質商法への対処などの具体的な活動や事例を通じて、「自立した消費者」として必要な資質や能力を身に付けられるようにしました。	p.132-139
	家族	● 現代日本の家族の特色と意義について第1章で取り上げ、家族の重要性を理解できるようにしました。	p.16-17、24-25
	先生がたの働き方改革への貢献	● 1見開きあたり1単位時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。	全体
		● 単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感を持たせるとともに、配当時間を設け、単元構想が立てやすくなるようにしました。	p.38-39、72-73など
		● 紙面上で、活動場面に「見方・考え方」を働かせる視点の例を分かりやすく提示しました。	p.9、13、54、105、191など
	インクルーシブ教育を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。 ● 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ● 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ● 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ● 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 ● 別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更(リフロー表示)、本文の読み上げ(機械音声)、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもの学習を支えます。 	全体
令和の日本型学校教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙面に付したQRコードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なデジタルコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせて学習を調整することができます。 ● 学習者用デジタル教科書では、画面に表示される紙面上のQRコードをクリックするだけの操作で、簡単にQRコンテンツにアクセスすることができます。 	全体	
印刷・造本	表記・表現	● 視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。	全体
	製本・印刷	<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ● 強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。 	全体
	用紙・紙質	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。 ● 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えるように工夫しています。 	全体

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。